



全 国 曹 洞 宗 青 年 会

# SOUSEI

2021.11  
Vol.195

特集

## 「信仰というケアのかたち」





## 支える人、支えられる人

はら しんたろう  
**原 信太郎**

長崎県金光教諫早教会教師/  
医師 / 認定臨床宗教教師

流行の前後で大きく変化したこと  
に、話を聞く対象者の範囲が広がつ  
たことが挙げられます。今までのケ  
ア対象者の多くは、がんや難病の患  
者さんなどの命の危機に瀕している  
方々や、患者さんのご家族・ご遺族  
などの悲嘆を抱えている方々でした。  
しかしこのコロナ禍では、感染の有  
無を問わず多くの方が不安を抱えて  
います。つまり、新型コロナウイル  
スに直接感染していない人も含め、  
全ての人がケア対象者となりうる状  
況にあります。ある意味全ての人が  
大きな災害に巻き込まれていると言  
つてもいい状況です。

コロナ禍において不安やストレス  
を抱える人たちの多くは、実際に感

前提として、傾聴する側の立場と  
して大きな変化はありません。傾聴  
するという姿勢は、新型コロナウイ  
ルスの流行には左右されないからで  
す。

ー医療者の方に向かって傾聴活動を行つ  
ていると伺いました。新型コロナウ  
イルスが流行する前と後で、どのよ  
うな変化がありましたか

ー新型コロナウイルスの蔓延によつ  
て、誰しも不安を口にしやすくなつ  
たということでしょうか

染している患者さんたちと比べれば、  
すぐに差し迫った命の危険はありま  
せん。ところが、この不安やストレ  
スによって生じる精神的な負担は、  
医学的な重症度とは関係なく蓄積し  
ていきます。仮に他人からみて些細  
な悩みでも、当事者にとっては真剣  
な悩みとなつて、心を疲弊させてい  
きます。

そういう側面も確かにあるかも  
しれません。新型コロナウイルスに  
イスタンスの推薦により、物理的に  
人と人の距離が離れてしまいました。  
これによって不安や悩みをひとりで  
抱え込み、本当に寂しい思いをされ  
ている方も多くおられると思います。  
そのような思いを抱えている方に対  
してこそ、生の言葉のキヤツチボー  
ルを交わすことで、様々な思いを訴  
えてくださる場合もあります。この

# 信仰という ケアのかたち

特集

現在、広く使用される「ケア」という言葉には、緩和ケアやエンゼルケアといった医療的な意味や、悩める人への労りや寄り添いの意味もあります。意味の広いケアという言葉ですが、語源をたどっていくと「心配する」という意味に由来しています。つまりケアという言葉の根本には「他者への気遣い」「他者への寄り添い」という意味が込められています。

新型コロナウイルス感染拡大や、大規模な自然災害の多発といった不安の多い世の中で、昨今、私達僧侶にもケアの視点が大切になってきました。そこで今号の特集では、私達僧侶の役割を再確認するために、ケアに取り組む2人の宗教者にお話を伺いました。

金光教の教師、呼吸器内科医、認定臨床宗教師について  
様々な視点を持つ原師に、医療と宗教的なケアについて  
お話を伺いました。

安を口にしやすくなつたとも言えるでしょう。

そしてこうした状況だからこそ、そういった不安を受け止めてくれる人が必要とされています。傾聴者となる場合の多い私たち宗教者にも、新型コロナウイルスへの不安をきっかけに、その人の裏にある本当の不安が吐露されることもあるでしょう。しかしくら不安を吐き出しやすくなつたとはい、話を聞く側の姿勢がケア対象者に向いていないと、うまく受け止めることはできないと思います。まずは自分自身を他者の不安を受け止めることができると、うまく受け止めることはできないと思います。先ずは自身を、

### —原師が自身はどんなセルフケアをされていますか

スタッフをいかに支えていくかということは、重要な課題です。それはいつても、誰もが誰かに支えられるばかりでは、最後には支えてくれる人がいない人間が出てきます。だからこそ、自身のセルフケアとなる何かが必要です。患者さんの抱く不安にどうしようもなく心が動かされてしまう人は、セルフケアがうまくいっていないとも言えます。

姿勢がケア対象者に向いていないと、うまく受け止めることはできないと思います。先ずは自分自身を、

他者の不安を受け止めることができると、うまく受け止めることはできないと思います。先ずは自分自身を、

1つまり誰かを支えている人こそ、支えとなる何かを必要としていると いうことでしょうか

その通りです。医療現場で働く人間として述べるならば、現場のスタッフは相当なストレスを抱えています。特に、一番近くで患者さんに接する看護師さんは本当に疲弊しています。

医療スタッフは、自身も心身共にストレスや感染への恐怖を抱いています。しかし、医療人としての使命感を持つて患者さんの不安に向き合っています。そんな状態にある医療

スタッフをいかに支えていくかということは、重要な課題です。それはいつても、誰もが誰かに支えられるばかりでは、最後には支えてくれる人がいない人間が出てきます。だからこそ、自身のセルフケアとなる何かが必要です。患者さんの抱く不安にどうしようもなく心が動かされてしまう人は、セルフケアがうまくいっていないとも言えます。



金光教諫早教会での信者さんへの教化活動

—セルフケアの方法が分かりません  
という方には、どのように接していますか



東京オリンピック聖火ランナーとして



新型コロナワクチン接種の様子

基本的に傾聴の場では、アドバイスをしないようにしています。ただし、具体的な質問に対しても、選択肢を狭めない範囲でお答えしています。

例えば得意なことを聞いてみて、それには選択肢を提示することもあります。あとは「感謝の気持ちがなかつたとしても、ありがとうございます」という提案をすることがあります。これには、普段言つてみましよう」という提案をすることもあります。これには、普段がなかつたとしても、ありがとうございます。実はこのことが多くあると思います。実はこうした不自由に直面した場合の心の動きは、緩和ケア病棟にいる患者さんと同じ心の動きをしているのです。実はそうではないと気づいてもらうことがあります。

長崎県は幸いにも走らせていただけきました。とても良い経験をさせていただきました。地域によつては点火式だけであつたり、何のセレモニーもなかつた地域もあります。例え幸運だつたと思います。

—傾聴者としてお話を伺う場合、宗教者としての立場と医師としての立場を、どのように線引きしていますか

結論から言うと、線引きはできていません。ケア対象者はがん患者、新型コロナウイルス患者、男性、女性、仕事など、カテゴリーではありません。個人としていろいろな思いを抱く、一人の人間です。だからこそお話を伺う傾聴者も、宗教者や医者などといったカテゴリーではなく、自分自身として向き合う必要があります。

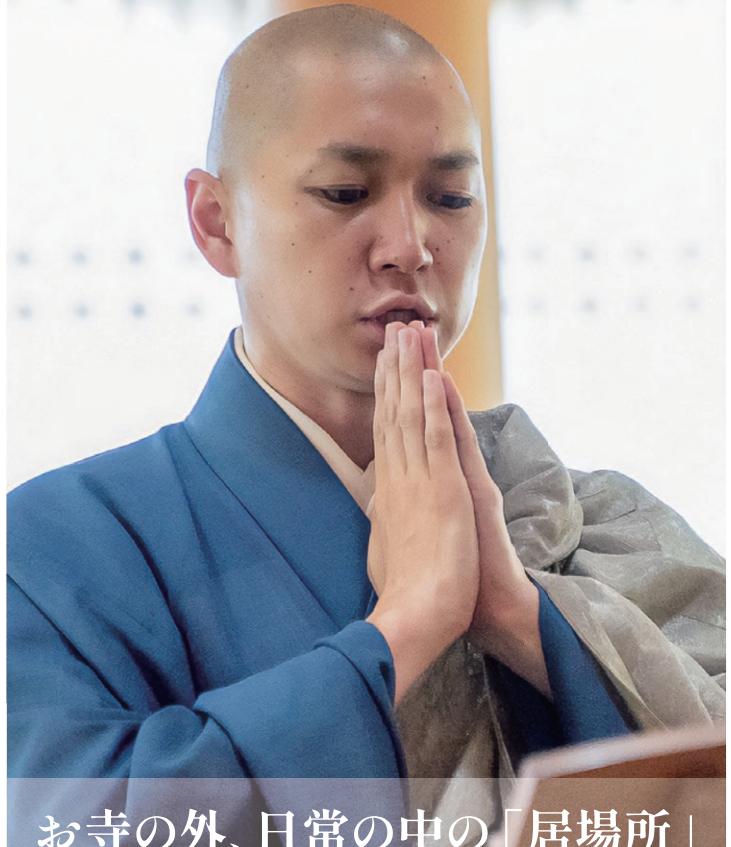
常に自分に問いかけているのですが、「なぜ自分は悩める人の前に立つか?」という問いかけを意識してケア活動にあたっています。この「なぜ」という部分に向き合なうことが、自分の宗教者としての本質に向き合うことにつながつていくからです。そしてそれは「では、自分に何ができるのか?」という問い合わせにつながり、自分自身としての正直な行動に発展していきます。

宗教者として傾聴の場に立つ場合、悩むことも多いかと思います。一緒に頑張っていきましょう。

取材／広報委員 信行一宏

対象者への共感という大きな力となるはずです。

常に自分に問いかけているのですが、「なぜ自分は悩める人の前に立つか?」という問いかけを意識してケア活動にあたっています。この「なぜ」という部分に向き合なうことが、自分の宗教者としての本質に向き合うことにつながつていくからです。そしてそれは「では、自分に何ができるのか?」という問い合わせにつながり、自分自身としての正直な行動に発展していきます。



## お寺の外、日常の中の「居場所」

たけむら しんげん  
長野県長福寺住職 /  
曹洞宗長野県第二宗務所青年会員

の仏教というのは、より良く生きていくためにあるものだと私は認識しています。そこで、怖いイメージや死に関わる場面ではない場所で、先ず仏教に親しんでもらおうと考えました。現在は新型コロナウイルスの影響で開催できていませんが、レンタルスペースを借りて行う坐禅会「出張坐禅会 zen café」という活動も、気軽に仏教に親しんでもらうことを目的に始めた活動です。

—そんな寺院外での活動で、参加者の方からのどんな反応がありますか

よく「お坊さんってこんなに緩いんだ」と言われます。これは、わざと緩い雰囲気を演出しているのではなく、自然体で関わっているからだと思います。

お檀家さんと関わる場面の多くは、葬儀や法事などの厳肅な雰囲気だと思います。そんな場面で、自然体で接することはなかなか難しいものです。

その点「出張坐禅会 zen café」やインターネット上の配信などでお坊さんは、お檀家さんよりフランクな関係からスタートしていますので、こちら側が自然体であると、参加者は

の方々も自然体で接してくださいます。

—自然体でいるお坊さんとはどんなお坊さんですか

悩みや不安を抱えている人たちにとって「居場所」となり、いい意味で「お坊さんという壁を作らないお坊さん」だと思っています。

竹村師はお寺の外やオンラインでの坐禅会を通して、参加していただいた方の悩みや苦しみに寄り添つてこれまで。それらの活動の中で感じた、僧侶のできる宗教的ケアについて、お話を伺いました。

—寺院外での活動を始めたきっかけは何ですか

お寺は畏敬の念を抱く、近寄りがたいイメージをもってしまう場で、お坊さんには怖いイメージがあります。

私はお寺の生まれではありません。高校3年生のときに出家して、お坊さんの世界に入りました。それまで

一般的の人の多くは、人の死に関わる場合が多いと思います。しかし本来

お檀家さんと関わる場面で、お

その苦しみはすごくよくわかりま



『出張坐禅会zen cafe』の様子

企業にお勤めの方には、時間に追われ、ゆとりが持てない人が多いようになります。お仕事をされている以上、忙しいはある程度仕方があります。それでもなんとか時間を作ってもらい、少しずつ活動を展開しています。先の質問でもお答えしていますが、多くの人にとって「職場」は悩みやストレスが生じる場所でもあります。そんな場所でこそ、僧侶がその人にとつての「居場所」とな

一般企業向けにも坐禅会をされているようですが、その狙いはどこにありますか

す。苦しみや不安を抱えている人を前にした時には、お釈迦様のようにその人を救うことができる言葉をプレゼントできればと思ったことも、たくさんあります。しかし残念ながら、お釈迦様のようにはいきません。今の私達できることは、苦しみや不安の中にいる人の話を聞いて、受け入れることだと思っています。苦しみや不安の中にいる人達は、一発逆転のアイデアを期待しているのではなく、ただただ、話を聞いてほしいと思っている側面もあります。そこに寄り添う姿勢こそが、その人にとつてのケアになるのではないでしょか。

冒頭でも述べましたが、一般の人々にとつてお寺は畏敬の念を抱き、どこか近寄り難い場所だというイメージを持たれることが多いと思います。ただでさえ誰かに助けを求めるのは大変なことですから、更にお寺に相談にくくるということは、難しいかもしれません。だからこそ私は、僧侶側からその人のもとへ出向き、苦しみに寄り添う姿勢が大切だと考えて

います。苦しみや不安を抱えている人を受け止めることができるのではないかと考えました。また、坐禅のようなくら、お釈迦様のようにはいきません。心落ち着く時間を一番必要としているのが、企業にお勤めの方かなとも思いますので、今後も広めていきたいと思っています。

インターネットの配信をやっていて、「誰にも相談できなかつた」という方に出会うことしばしばあります。立場や責任から、そうした状況も生まれていると思います。そうした状況の中で打ち明け難い気持ちを吐露するのは、それだけで多くのエネルギーを使います。まして現在は新型コロナウイルスが蔓延し、他のとの交流の機会も減りました。誰かに助けを求めるのは、益々難しいこととなりました。

—毎朝5時半から「シンゲンと毎日坐禅会」という坐禅会の配信をされていますが、毎日続けるモチベーションの秘訣はありますか

実際に取り組みを継続していくことはとても大変です。もともとは強いコンセプトがあつて始めたことはなく、見切り発車でなんとなく始めた「シンゲンと毎日坐禅会」です。続ける秘訣というものは特にないのですが、心持ちとしてはいつでもやめていいと思っていることです。

そらく、これから色々なことをやつてみようと考えておられる僧侶の方もおられると思います。それならば、始めたからには無理してでも続けようという考えは捨て、なんとなく始めて、なんとなくやめるという余裕をもつて取り組んでいくことが、続けるコツかもしれません。

どのような活動であれ、自分自身に余裕がないと苦しいだけです。だからこそ先ず、セルフケアが大切だと思います。苦しみの中にある人のために届けたくて始めた「シンゲン

と毎日坐禅会」ですが、私にとってもこの坐禅会があるおかげで、自分にとつてのセルフケアになつています。

—ほかにご自身のためにやつているセルフケアはありますか

自分にとつて良い状態を保つということを意識しています。人前に立つということをしていて以上、自分の状態というのはとても大事です。悪い状態で人前に出てしまうと、所作や言葉の端々にどうしてもその悪い状態が出てしまい、自然体ではないらなくなるからです。具体的には、あえてその時々でやらないことを決めて、自分の時間を確保することを意識しています。

法句経には「己こそ己の寄るべ、己をおきて誰によるべぞ、良く整えし己こそ、まこと得がたき寄るべなり」という言葉がありますが、誰しも先ず自分を整えなければ、何も成すことは出来ないのかもしれません。自分自身を救い整えることを忘れず、今後も活動していきたいと思います。



「シンゲンと毎日坐禅会」配信の様子

取材／広報委員 信行一宏  
広報委員 泉田尚志



長野県山形村公民館での坐禅会の様子



法要のオンライン配信

まとめ

# 「大丈夫」な人になりたい

「大丈夫」という言葉があります。「危なげなく安心なさま」や「強くてしっかりといるさま」という意味があります。正法眼藏にも立派な人物という意味で「いはゆる雪峯老漢大丈夫なり」という文節が登場します。「大丈夫」という言葉はとても安心できる言葉だと思います。

しかしながら、この「大丈夫」という言葉には、強がりや無理が含まれる場合が多くあります。本当はとても困っている方に支援を提供しようとした時「大丈夫だから」と一蹴されてしまい、何もできないというケアの現場もあることでしょう。それは、その人なりの気遣いや優しさかもしれないが、その姿はみていてとても心苦しいときもあります。また、ケア提供者の中にも、あまりにも案件を抱えすぎて「大丈夫、大丈夫」と自分を無理に奮い立たせて、結果的にケア対象者自身にもケアが必要な状態になってしまふこともあります。

安心と苦しみの2つの意味を持つ「大丈夫」という言葉を、われわれ僧侶はしっかりと見極めなければなりません。

今回の特集を通して、「大丈夫」という言葉に苦しめられている人にこそ、僧侶の寄り添いがケアになると感じました。病に苦しめられているのであれば、医療的なケ

アを受け、自分に苦しめられているのであれば、僧侶によるケアを受ける。そのように、様々な苦しみに対して、様々な人ができる範囲でケアに携わっていくことが、より良い社会を作っていくのではないかと思います。

また、お二人のお話を聞かせていただき中で、共通して出てきた言葉に「セルフケア」というものがあります。ケアをする者は先ず自分自身をケアできないと、いつかケアすべき対象さえも傷つけてしまいます。セルフケアが十分にできている状態を「大丈夫」な状態だと言えるのではないかと思いました。

セルフケアについて考えると曹洞宗の教えの中心にある坐禅も、「調身・調息・調心」という言葉に表されているように、その行法として、自己の心を調えることが重要とされています。全国曹洞宗青年会でも毎月「オンライン坐禅会」を開催しています。この取組も自分を見つめ直すきっかけとなります。

ければ幸いです。

自分自身が「大丈夫」な状態になり、ほのか人に「だいじょうぶだよ」と安心していただける場を作っていくこと。そのようななり方がそれぞれのケアのかたちを作っていくのではないかと思います。

取材・文／広報委員 信行一宏



竹村信彦



信太郎原



Ikkou Nobuyuki

ZOOMでの取材の様子

大本山總持寺開創700年奉讚

全国曹洞宗青年会 禅文化学林

# 相承と創造

700年の想いを明日へ



9月12日、全国曹洞宗青年会は大本山總持寺開創700年慶讚法要にあわせ、令和3年度禅文化学林・大本山總持寺開創700年奉讚イベント「**ZENSOUSEI ONLINE FESTA**」を開催いたしました。本事業は大会テーマを『**相承と創造～700年の想いを明日へ～**』とし、両祖から受け継がれる正伝の仏法を相承し、700年の悠久の時を連綿と受け継いできた大本山總持寺への敬慕をもって、新たな布教や行事への参画の在り方を創造すること目的に開催いたしました。

全曹青公式YouTubeチャンネルから多種多様な動画や現地法要の様子をライブ配信し、最大同時接続100人、延べ672人の皆様にご視聴いただきました。また当日のアーカイブ動画は、現在約2700回再生を数えています（11月2日現在）。

当初は大本山總持寺祖院境内でブースを展開する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。そこで本事業は、全曹青の今期スローガン『**Paradigm Shift**』を体现し、社会の変容に柔軟に対応する事業として開催されました。青年会活動の新たな可能性を示すことができたと考えます。事業円成にあたりご理解、ご協力を賜りました皆さんに、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

「**ZENSOUSEI ONLINE FESTA**」は、全曹青公式 YouTube チャンネルにて現在もご覧いただけます。お見逃しの方は、是非ご覧ください。



## 第一部 オリジナル動画の配信

第一部では、全曹青・加盟曹青会が制作した動画を配信いたしました。多種多様な内容の動画を9加盟曹青会より提供いただき、全曹青はコロナ退散オンライン法要動画や新たな精進料理動画などを配信いたしました。コロナ禍においても、動画の制作という新たな形で多くの加盟曹青会に参加いただき、全国連絡協議体としてともに取り組むことができました。

### 加盟曹青会制作オリジナル動画



秋田県曹洞宗青年会

ハワイで国際布教師をされている深川尚隆師のインタビューです。これから訪れる益々の国際化社会の参考となるものです。



山形曹洞宗青年会

山形曹洞宗青年会制作カレンダーの読み上げ動画です。『修証義』を現代的な言葉で親しむ内容となっております。



宮城県曹洞宗青年会

梅花流師範による「まごころに生きる」のお唱えにのせ、東日本大震災被災地の復興の様子を紹介いただきました。



茨城県曹洞宗青年会

茨城県曹洞宗青年会 You Tube チャンネルより、「きらら寿司」と「舞茸のカキフライもどき」の精進料理動画を提供いただきました。



曹洞宗石川県青年会

活動紹介と大本山總持寺祖院山門の曳家動画です。多様な活動の紹介と、祖院復興の様子をご覧いただけます。



静岡第三同志会

活動紹介動画です。コロナ禍においても、青年僧侶の研鑽と地域貢献活動を継続されている様子をご紹介いただきました。



愛知県第一曹洞宗青年会

大本山永平寺名古屋別院で撮影された、坐禅指導動画です。コロナ禍の中、自宅で坐禅をできるよう解説いただいております。



三重県曹洞宗青年会

和太鼓集団「鼓司」の演奏にのせた活動紹介動画です。世界的な活動に、青年僧侶のパワーを感じさせてくれる動画です。



いつも曹洞宗青年会

コロナ禍の中、自宅でも気軽に写経に親しんでいただけるよう、作法・心得をわかりやすく解説していただきました。



「全曹青×和倉温泉・加賀屋」

#### 精進料理の心

和倉温泉の老舗旅館「加賀屋」様ご協力のもと制作いたしました。禅を表現する精進料理の教えを、能登の伝統文化や食材とともに発信しております。「加賀屋」総料理長様による、自宅でできる精進料理の作り方と心得をご覧いただけます。



作務衣「一衣 hitoe」

#### コンセプトムービー

SDGsに基づく持続可能な社会を目指し、株式会社 Problem Solving が生産・販売をしている作務衣「一衣 hitoe」の紹介動画です。我々が何気なく着ている作務衣や法衣が、職人の技術と想いの上に「ここにある」ことを気付かせてくれる動画です。

## 第二部 法要の中継

開創700年を祝福するような秋らしい空高い晴天に恵まれる中、第二部では大本山總持寺祖院の法要を中継いたしました。

大本山總持寺開創700年慶讃法要の御両尊報恩諷経では、御親香御代理として石附周行副貫首老師による御導師のもと、全曹青役員も随喜させていただきました。また慶讃法要に先立ち修行された御両尊獻湯諷経では、全曹青会長・山田俊哉が焼香師を務めさせていただきました。コロナ禍により焼香師法要や参拝が制限される中で、格別なるご配慮を賜り、青年会へのご期待を感じました。

ご垂示のなかで、副貫首老師は「大本山總持寺でのお参りの時でも、祖院へつながっていると思いお参りしている」と述べられました。これは今まさに私たちも持つべき心です。大本山總持寺祖院でのお参りは叶いませんでしたが、オンラインを通じ報恩の真心を捧げることができました。

※本文内役職につきましては、法要当日の役職に準じ記載しております。



### 輪島市・のがし研究所 オリジナル和菓子「Paradigm Shift」



当初は行茶ブースの来場者へのお菓子として企画したオリジナル和菓子を大本山總持寺祖院へ奉納し、慶讃法要ご随喜の御寺院様にお召し上がりいただきました。

意匠：朝の光のような透き通った寒天に、門前産の海藻えごを流し合わせました。大粒の能登大納言の蜜漬けを、受け継がれる教えに見立て一粒配しました。同じものは一つとしてなく、幻のように豆が数個に見えるという点は、迷い多き人間への問いかけのようにも見えます。連なる菓子の山々は今の時代を写して、新たなる価値観を見極め、今再び大切にしたいことをイメージしました。

# ソウセイ・ネットワーク

## 愛知県第一曹洞宗青年会



全国の加盟曹青会の活動情報を共有し、さらなる青年会活動の活性化を目指す本連載。今号は、愛知県第一曹洞宗青年会の活動について、

中村晋峰会長にお話を伺いました。



### 青年会情報

## 愛知県第一曹洞宗青年会

昭和52年発足 会員数97人

会長／中村晋峰

■これまで、どういった活動に取り組まれてきましたか

愛知県第一曹洞宗青年会では、これまで法要法式の研修のほかに、「禪の集い」など一般の方への布教活動を行つてまいりました。昨年度はコロナ禍の活動自粛により、残念ながら殆どの事業が中止や延期となりました。しかし

その状況下でも、新たにチャリティーグッズを制作し、売上の一部をボラン

ティア活動団体に寄付し、社会に寄与する活動に取り組んでいます。また特

に昭和57年から始まつた花まつり事業は、発足当初の映画上映や演劇鑑賞から「子ども絵画展」という形態へ変化し、現在も継続して取り組んでいます。

子ども絵画展は名古屋の市街地を会場として、曹洞宗愛知県第一宗務所保

育連合会に所属する寺院に絵画のご協力をいただいています。園児たちが描いた花まつりのぬり絵とともに甘茶を振る舞い、青年僧侶との交流を通して仏教に親しんでいただく活動であります。

園児たちが描いた花まつりのぬり絵とともに甘茶を振る舞い、青年僧侶との交流を通して仏教に親しんでいただく活動であります。

「子ども絵画展」も



令和2年度子ども絵画展、感染対策を徹底し開催

■国内でも大都市とされる街で仏教の事業を展開するにあたり、反響はいかがでしょうか

本年も新型コロナウイルスの影響はありませんでしたが、絵画展当日には129人がご来場されました。来場者の中にはもちろん、花まつりという行事を知らない方もたくさんおられます。しか

昨年は新型コロナウイルスの影響から中止となりましたが、今年は消毒や社会的距離の確保など、感染対策に努めた上で開催させていただきました。例年のように甘茶を振る舞うことはできませんでしたが、来場者には、ゆつくりと園児たちのぬり絵をご覧いただきました。

し、華やかなぬり絵を花御堂やパネル（誕生仏や甘茶の説明）とともに展示することによって、多くの方に興味を持つつていただいています。特にぬり絵を描いてくれた園児たちは、ご家族と一緒に来場してくださいます。自分が描いた絵を家族と一緒に見るその笑顔は、私達企画者の励みとなります。

また近年、全国的に過疎問題への取り組みが活発になっています。愛知県内でも地域差はあるものの、同じく過疎問題を抱えています。名古屋市街のお寺は過疎問題とは無縁かのように思われますが、そうではありません。名古屋中心部などの商業区域ではお寺の近隣に居住する檀信徒は少なく、更に境内に墓地がない寺院も多く、お寺との繋がりが希薄になりやすい環境になっています。こうした状況もあり、市街地での青年会活動は普段疎遠になっている方や若い世代に対しても、仏教やお寺というものに親しんでいただく良い機会になつていています。

### ■今後の目標や、計画を教えて下さい

今後はさらに、青年会員が人と人の繋がりを大切にできるような活動を心がけたいと思います。例えば花まり事業では、ぬり絵を描いてくれる子

ども達と青年僧侶の交流等、書類のやり取りだけで終わってしまうのではなく、気持ちを通わせる活動となるよう努めたいと思います。

また当会は今期、創立45周年を迎えます。そのため周年記念事業として『経験・研鑽・継続』坊主が寄れば仏の智慧』をスローガンに「これからのお寺をデザインする会」と「眼蔵会」を開催し、青年僧侶の資質向上を目指します。

「これからのお寺をデザインする会」は、「一般社団法人未来の住職塾」理事の遠藤卓也氏を講師にお招きし、地

「これからのお寺をデザインする会」開催の様子



域とのコミュニケーションやお寺の場づくり、広報術など、事例紹介を交え

たオンライン講義やワークを通じて、

現代におけるお寺の在り方を考える講

座です。講座の最後には各会員が自身の寺をデザインできるようにカリキ

ュラムを進めております。そして「眼

蔵会」では青山俊董老師を講師に拝請

し、愛知専門尼僧堂で『正法眼蔵』の提唱を賜ります。また当会員以外も同

志の宗門僧侶であれば聴講できるよう

に対応させていただいています。本期

はこの2つの取り組みを継続し、曹洞宗僧侶としての原点にしっかりと目を

向け、その上で現代社会に必要とされる僧侶の役割を果たしていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの影響もあり、多くの方が気持ちを疲弊させています。

今こそそんな社会に僧侶も寄り添う必要があります。そのためにも、先ずは私達青年僧侶の資質を磨く必要があります。愛知県第一曹洞宗青年会では、これまで積み重ねてきた対外活動と、それを支える僧侶の資質と、どちらかに偏るのではなく、外側と内側の両面を大切にし、青年僧侶の活動をより良いものへ高めていきたいと考えています。

愛知県第一曹洞宗青年会から、  
3名が全曹青に出向しています



国際委員 神野太賢



会計 川浦良允



副会長 岡島典文

# レポート企画

## 映画『典座—TENZO—』海外配信と映画祭上映



全曹青製作の映画『典座—TENZO—』が、ニューヨークに拠点を置く仏教専門ウェブサイト『TRICYCLE』で紹介され、8月6日までストリーミング配信されました。『TRICYCLE』は歴史、文化、精神、アートなど、様々な角度から仏教にアプローチをしている非営利のウェブサイトです。

また、8月26日～30日まで開催されたソウルの東國大學校（曹溪

宗）が主催する映画祭、「ONE WORLD ONE FLOWER INTERNATIONAL BUDDHIST FILM FESTIVAL」で、映画『典座—TENZO—』が上映されました。本映画祭は今年が第一回目の開催で、仏教をテーマにした作品や仏教に影響を受けた作品が、世界15ヶ国以上から集まりました。再び国境を越えて映画『典座—TENZO—』が、多くの方の目に留まる機会となりました。

文／広報委員 菅原貴俊

### 令和3年大雨による各地災害へのお見舞い

本年発生した全国各地での記録的大雨は、河川の氾濫や土砂災害をはじめ、各地に甚大な被害を及ぼしました。

亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災に遭われました皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

一日も早く皆様方の日常生活の復旧が実現されることを、心よりご祈念申し上げます。

昨年の発災当初よりこれまで、全国の皆様から多くの物資や義援金をご支援いただきました。今回の活動におきましても、たくさんのご協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

今年7月には、熊本各地で復興慰靈祭が営まれました。慰靈祭当日の夜には花火も上がり、復興への願いと犠牲に遭われた方々への祈りが捧げられました。しかし、こうして日々復興への気運が高まる中でも、被災地では現在も多くの方が仮設住宅で生活されております。先行きへの不安を抱えながらも必死に前を向く住民の皆様とともに、災害復興支援部では今後も復興のお手伝いを継続してまいります。

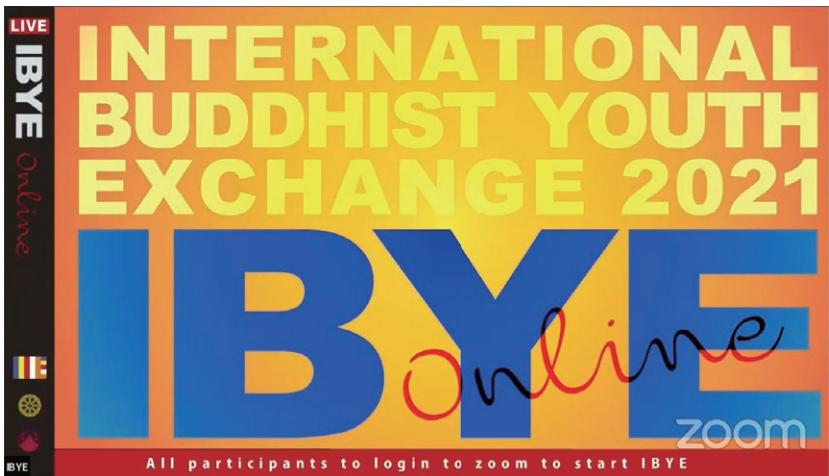
本活動では被災地の熱中症対策として、仮設住宅へ扇風機をお届けするため災害ML

### 「風を贈ろう」活動報告



仲野大悟

文／災害復興支援部事務局長



全日仏青  
NEWS



## IBYE2021開催

「国際仏教徒青年交換プログラム  
International Buddhist Youth Exchange

(IBYE)」が8月20日(金)～22日(日)  
に、全日本仏教青年会(JYBA)、世  
界仏教徒青年連盟(WFBY)の共催で  
開催されました。全曹青からは、WFB  
Y会長として村山博雅顧問、またJYB  
A内IBYE実行委員会事務局長を高柳  
龍哉国際委員長が務めました。

昨年の新型コロナウイルス感染拡大に  
より無期限延期となつたIBYE2020  
0の想いを受け、IBYE2021はZ  
oomやYouTubeなどを使用して  
オンラインにて開催されました。従来の  
IBYEは開催国に一同が集まり、Club  
ub25と呼ばれる仏教徒青少年少女たち  
による、仏教を基にした国際交流が主軸  
となる事業でした。Club25は、25年  
後に社会的立場を確立し活躍できる人材  
を育成する為に、WFBYが発案し加盟  
センターが組織している団体です。IB

YE2021では、オンラインのメリッ  
トを最大限に活かし、IBYE史上初め  
て一般参加を募りました。アフターコロ  
ナを見据えた基調講演と従来の国際交流  
との2部構成とし、広く国内外へJYB  
AやWFBYの仏教活動を知つてもらう  
機会となりました。またオンライン開催

のため、従来では時間的理由や経済的理  
由によつて参加できなかつたアジア各国  
の青少年たちにも広く参加していただ  
き、文化的、民族的な深い相互理解とと  
もに、アフターコロナにつながる国際交  
流カンファレンスとなりました。

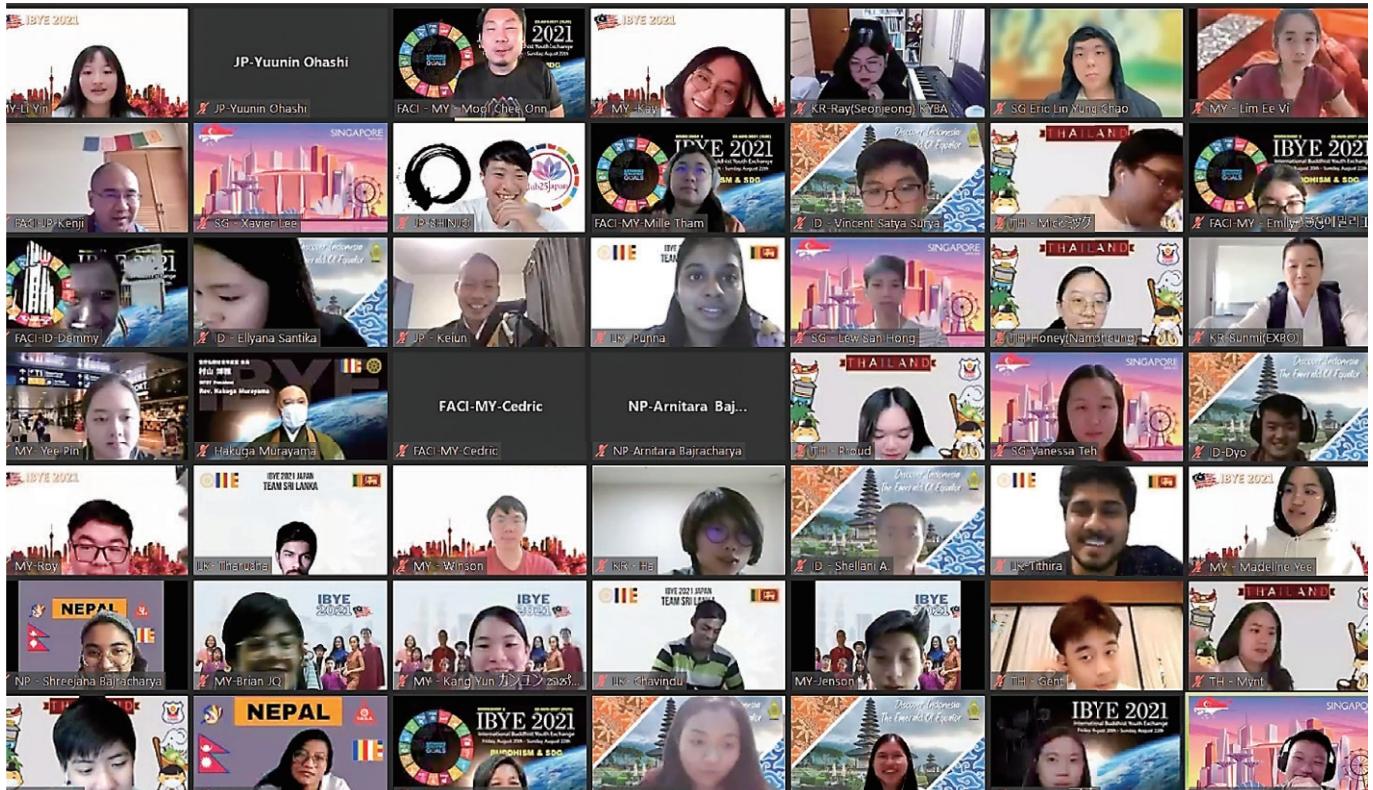
本プログラムは、基調講演の講師とし  
て浄土真宗本願寺派僧侶の釈徹宗師、日  
道国際学会理事長をお務めであり宮司の  
三宅善信氏、マインドフルネスで広がり  
を見せるプラムヴィレッジのチャン・  
ファップカム師、世界仏教徒大学学長であ  
り僧侶のプラ・アニル師、そして曹洞宗  
からは国際布教師であり元曹洞宗国際セ



村山博雅WFBY会長 世界災害への追悼と復興祈願法要



藤田一照師、基調講演の様子



国境を越え、多くの方が参加した

ンター所長の藤田一照師を講師としてお招きいたしました。「アフターコロナとパラダイムシフト～未来への希望～」のメインテーマの他、3日間それぞれにテーマを設けて講演をいただきました。1日目は「アフターコロナ×パラダイムシフト」として釈迦宗師と内田樹氏、2日目は「世界三大宗教×SDGs」として三宅善信氏とプラ・アニル師、3日目は「SDGs×仏教」としてチャン・ファップカム師と藤田一照師に、貴重なお話を頂戴しました。どの講師のお話も、社会の現状を捉え、明るい未来を見出せる講演となりました。

新型コロナウイルス蔓延という世界的危機は、私たちの生活を根底から覆しました。対面からオンラインというコミュニケーション手段の変更に留まらず、私たちの生活様式や考え方そのものの変化も余儀なくされています。人類は今までの常識や生き方が通用しないといふ、まさに『Paradigm Shift』を迫られていると言わざるを得ません。そして貧困問題や気候変動等、さまざまな地球規模の課題が多い現代において、国連は2015年に「持続可能な開発目標＝SDGs」という世界共通の目標を採択しました。国家や企業・個人という垣根を超えて、問題解決への取り組みが国内外でなされています。

## YouTube チャンネル



全日本仏教青年会JYBA



世界仏教徒青年連盟WFBY

※今回のIBYE2021の基調講演は、JYBAの公式YouTubeチャンネル（日本語）やWFBY公式YouTubeチャンネル（英語）で継続して配信しております。左記二次元コードから現在も視聴することができます。

文／国際委員長 高柳龍哉

築のために、一見関係がないようにも見える「仏教×SDGs」の掛け合わせから見える未来への可能性や、親和性を強く感じる機会となりました。



# 執行部からのごあいさつ



顧問

村山 博雅

特別会員

現在、世界佛教徒青年連盟（WFBY）会長と全日本佛教青年会顧問を務めております。全曹青顧問として山田会長の諮問に全力で応え、コロナ禍という状況への熟慮とともに、全曹青と全国・世界の佛教青年会とのネットワーク構築に注力してまいります。第24期スローガンの『Paradigm Shift』をはじめ、SDGs、オンラインというキーワードの中、「伝える」だけではない「つながる」活動を、全力を以てサポートしていく所存です。今期も何卒よろしくお願い申し上げます。



顧問

原 知昭

いつも曹洞宗青年会

第24期顧問を務めさせていただいております原知昭です。ウィズコロナの社会情勢のなか、そしてアフターコロナを見据え、会として大きな制限を受けながらも『Paradigm Shift』をスローガンとして新たな試みに邁進する山田会長はじめ、執行部を支えてまいります。よろしくお願ひいたします。



副会長

田ノ口 太悟

福岡県曹洞宗青年会

3期目の出向になります。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、社会全体がこれまでの習慣を見直す流れになりつつあります。今期のスローガンは『Paradigm Shift』。今までの当たり前を見直し、また自分自身の考え方を更新できるよう、加盟曹青会の皆様と助け合いながら、山田俊哉会長のもと努めていきたいと思います。

副会長

森井 宗淳

いつも曹洞宗青年会

今期スローガンにあるように、社会変化に対応しながら変わること変えないことを極め、長く諸先輩の皆様方が続けてこられてきた青年会活動を支えていきたいと存じます。さらには各加盟曹青会の皆様にご協力をいただきながら、連絡協議体として全国を繋ぐために何ができるのかを模索し、微力ではありますが精一杯務めさせていただきます。



事務局長

宮本 昌孝

山口県曹洞宗青年会

全曹青に出向させていただくようになり早くも4期目となり、若輩の身でありながらも事務局長の任を仰せつかりました。第24期が無事に円成できるよう、微力ながらも尽力させていただきます。先輩諸兄方から教えていただいたものを大切にし、会員の皆さんとこの目まぐるしく変化する社会情勢に挑戦してまいります。



副会長

岡島 典文

愛知県第一曹洞宗青年会

この度、第24期副会長、災害復興支援部コーディネーターを仰せつかりました。第19期より第21期までの6年間、全曹青で揉みに揉んでいただき、4年間の空白を経てこの第24期に戻ってまいりました。この4年間、殊更にこの2年間で社会は大きく変容し、僧侶もその変化への対応を求められていると実感しております。第24期スローガンは『Paradigm Shift』です。これを自身に突き付けられている問題とし、努めてまいりたいと思います。皆様にお目にかかる日を心待ちしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



会計

川浦 良允

愛知県第一曹洞宗青年会

前期の庶務に引き続き、今期が2期目の出向となります。全曹青の会計を務めるようになり、改めて全国の御寺院様方によるご贊助の有難みを痛感いたしました。皆様からいただいた淨財を責任をもって管理し、誠実かつ正確な会計会務に努めてまいります。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。  
この度もご協力いただき誠に有難うございました。

◆宮城県	◆岩手県	◆山形県3	◆北海道1	인터넷受付分
10 滝澤寺 様	7 永祥院 様	433 祐性院 様	350 来広寺 様	
35 龍雲院 様	44 江岸寺 様	466 禪龍寺 様		
43 玉川寺 様	81 圓城寺 様	470 蓮台院 様	◆北海道2	◆秋田県
55 實相寺 様	199 保壽寺 様	740 長應寺 様	102 興禪寺 様	46 東泉寺 様
113 繁昌院 様	290 長泉寺 様			
212 祥雲寺 様		◆秋田県	◆北海道3	
263 西林寺 様	◆青森県	17 補陀寺 様	195 定光寺 様	
308 洞仙寺 様	100 澄月寺 様	19 開信寺 様		
310 洞福寺 様	189 乘照寺 様	70 玉龍寺 様		
344 龍澤寺 様		157 香積寺 様		
414 虎渓寺 様	◆山形県1	166 久昌寺 様		
440 城國寺 様	81 金勝寺 様	174 満福寺 様		
465 松岩寺 様	176 龍源寺 様	187 西光寺 様		
	194 龍護寺 様	246 福城寺 様		
	208 普門寺 様	265 倫勝寺 様		
		313 立昌寺 様		
		323 恩徳寺 様		
		353 安養寺 様		

## ボランティア基金感謝録

2021年7月1日～2021年9月30日取扱い分

静岡県2 319 源光院 様

山梨県 曹洞宗山梨県青年会 様

秋田県 46 東泉寺 様

シワにならない麻のような風合い  
**スーパーパールック**  
しなやかな絹のような風合い  
**シリキーワン**

井筒屋  
☎0120-122-894  
<https://www.idutsuya.co.jp>

# 贊助費納御芳名簿

2021年7月1日～2021年9月30日取扱い分

◆東京都	◆茨城県	◆愛知県1	◆京都府	◆島根県1	◆長野県2
14 法音寺 様	13 龍泉院 様	7 全香寺 様	26 岩屋寺 様	209 圓通寺 様	400 長久寺 様
18 大泉寺 様	145 性山寺 様	18 大運寺 様	46 荣春寺 様	332 興源寺 様	441 雲龍寺 様
106 觀泉寺 様	182 龍心寺 様	55 長全寺 様	236 善光寺 様		
173 江岸寺 様	197 長龍寺 様	62 菊泉寺 様	367 福昌寺 様	◆島根県2	◆福井県
232 藥師寺 様		101 成福寺 様	378 徳昌寺 様	63 龍覺寺 様	232 長泉寺 様
333 雲慶院 様	◆千葉県	135 光明寺 様	389 萬福寺 様	66 淨心寺 様	291 福聚寺 様
	2 宗胤寺 様	147 成道寺 様		70 完全寺 様	
◆神奈川県2	7 滿歲寺 様	202 世尊寺 様	◆大阪府	135 藥師寺 様	◆石川県
124 報恩寺 様	22 廣壽寺 様	313 長松寺 様	5 臨南寺 様	187 養善寺 様	64 永光寺 様
383 觀音寺 様	25 萬福寺 様	342 常樂寺 様	38 慈願寺 様		75 大覺寺 様
394 長尾寺 様	29 慶林寺 様	375 春江院 様	98 吉祥院 様	◆愛媛県	103 天崇寺 様
	198 太高寺 様	605 天德寺 様		113 西禪寺 様	
◆埼玉県1	315 雲龍寺 様	635 永澤寺 様	◆兵庫県1	146 興雲寺 様	◆富山県
1 金剛寺 様		648 德用寺 様	9 三宝院 様	169 宝泉寺 様	114 光臺寺 様
19 宝積寺 様	◆山梨県	824 東昌寺 様	287 向榮寺 様		
139 慈真院 様	213 方外院 様			◆福岡県	◆新潟県1
	280 円通院 様	◆愛知県3	◆兵庫県2	5 妙徳寺 様	373 常福寺 様
◆埼玉県2	392 慈照寺 様	411 福田寺 様	10 東林寺 様	28 桂木寺 様	393 曹源寺 様
248 長泉寺 様		557 楠巖寺 様	149 瑞光寺 様		439 林興庵 様
	◆静岡県1	滴禪会 様		◆大分県	453 龍澤寺 様
◆群馬県	26 宝珠院 様		◆岡山県	134 長安寺 様	496 長樂寺 様
97 元景寺 様	388 林叟院 様	◆岐阜県	3 長川寺 様		
144 雙松寺 様	464 正泉寺 様	75 地藏院 様	10 長連寺 様	◆長崎県1	◆新潟県4
165 光明寺 様		245 良守寺 様		42 西方寺 様	89 安穩寺 様
194 善宗寺 様	◆静岡県2		◆広島県	52 青眼寺 様	
238 茂林寺 様	228 耕月寺 様	◆三重県1	46 双照院 様	78 宝泉寺 様	◆福島県
311 泉通寺 様	370 保春寺 様	28 萬壽寺 様	86 西金寺 様		14 円通寺 様
		37 四天王寺 様	133 少林寺 様	◆熊本県2	87 東光寺 様
◆栃木県	◆静岡県3	83 凉泉寺 様	185 明福寺 様	78 地藏院 様	101 成林寺 様
46 龍昌寺 様	629 大覺寺 様	246 寶泉院 様		122 國照寺 様	110 龍德寺 様
93 乾德寺 様	927 正眼院 様	273 禪龍寺 様	◆山口県		121 長泉寺 様
175 本光寺 様	1306 藏雲院 様	305 傳法院 様	25 弘濟寺 様	◆宮崎県	125 勝音寺 様
			86 興元寺 様	6 祐國寺 様	226 常隆寺 様
	◆静岡県4	◆滋賀県	236 飯倉寺 様	59 明星寺 様	246 長徳寺 様
1105 仙林寺 様	143 永壽院 様	164 正傳寺 様	◆鳥取県	◆長野県1	266 洞雲寺 様
			81 大岳院 様	337 示現寺 様	
			124 願成寺 様	65 柳原寺 様	340 慶徳寺 様
			133 妙元寺 様	71 菩翁寺 様	373 泰雲寺 様
			151 安国寺 様	147 徳應院 様	399 法界寺 様
			195 普音寺 様	328 泉洞寺 様	406 浄泉寺 様
					461 正法寺 様

令和三年九月十日、大本山永平寺前貫首 福山諦法禪師がご遷化されました。  
 令和三年九月十九日、大本山總持寺貫首 江川辰三禪師がご遷化されました。  
 兩禪師には、当会の名誉総裁にお就きいただきました。  
 続いてのご訃報に接し、ここに謹んで哀悼の意を表します。



## 全曹青オンライン坐禅会 毎月開催中!

詳しくは公式HP般若を御覧ください

### おうちで坐禅してみよう

昨年6月より続くオンライン坐禅会「おうちで坐禅してみよう」は、週明け月曜日に向けて、さらには月末から翌月に向けて、穏やかにすっきりとした心持ちで過ごせるよう、毎月最終日曜日の夜9時から開催しております。

毎回坐禅の作法をお伝えしておりますので、初めての方も安心して坐ることができます。また、ゆったりと坐る他に、坐禅についての話や簡単なストレッチも紹介しております。

何かと騒がしい世の中ではありますが、静かに坐って、辛いことや煩わしいこと、はたまた楽しいことさえも忘れ、全てを手放してみましょう。身体と呼吸が調い、そして心が調った穏やかな時間を一緒に過ごしてみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。



11月28日(日)「ONLINE ZAZEN IN ENGLISH」と合同開催

12月26日(日) 開催

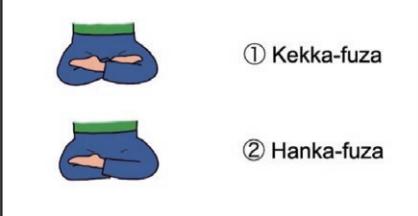
### ONLINE ZAZEN IN ENGLISH

全曹青は、海外の方向けのオンライン坐禅会も開催しております。「ONLINE ZAZEN IN ENGLISH」は、海外の方が初めて坐禅に親しむ場合にも分りやすいよう、英語とイラストを交えながら作法をお伝えしています。また現在は、特にアジア圏の方に親しんでいただけるよう、日本時間夜9時から毎月開催しております。

独自の仏教文化を育んでいるアジア圏も含め、世界には日本の曹洞禅に触れたことのない方が多くおられます。そんな方々に、初めての曹洞禅をお届けしております。

11月28日(日)「おうちで坐禅してみよう」と合同開催

12月12日(日) 開催



### 表紙の話

今号は心と体の不調に対して、宗教者の取り組みを特集しています。表紙では特集を意識し、差し込む光に映し出される鮮やかな壁の模様と、その光を見据える僧侶を表現しました。この一筋の光明のように、暗闇を色鮮やかな場に変えるような活動を目指し、日々努めていきたいと思います。

撮影地／広島県尾道市 摄影／広報委員長 菅悠生